

2017 (平成29)年 江戸川大学 後期公開講座 (9~3月)



江戸川大学駒木学習センター

〒270-0198 千葉県流山市駒木474

TEL.04-7156-7715 / FAX.04-7153-5904

URL <http://www1.edogawa-u.ac.jp/stcenter/>

E-mail stcenter@edogawa-u.ac.jp

江戸川大学オープンカレッジ

2017 後期「一般教養講座」のご案内

101 講座

歴史を語る博物館

～展示物にみる東西文化交流の謎～

開催日 金曜日 13:30～15:00 回数 全10回 受講料 15,000円 定員 50名 お申込み締切日 9/29(金)



博物館の展示物には歴史の鍵が秘められています。旅をして見知らぬ土地に行く際には、地域の博物館をまず訪ねることをお勧めします。展示物は歴史を学ぶ重要資料ですので、この沈黙の歴史遺産と文化資料を解説するには、秘められた情報を分類し系統的に分析し、仮説、実証、推論の技が必要です。

この講座では、私が取材した日本からアジア、太平洋、中近東、アフリカ、ヨーロッパの特色ある博物館の展示物を見ながら、そこに残された東西文化の交流やコミュニケーションなどの歴史を紹介し、その背景にある歴史と文化を理解するための方法論などを考えていきます。

市川 昌

江戸川大学名誉教授

日本教育メディア学会会員

日本生涯教育学会会員

- 第1回 10月6日 ◆斎宮歴史博物館と伊勢神宮—日本の女帝と巫女政治
- 第2回 10月13日 ◆奈良国立博物館と正倉院—樹下美人像とシルクロード
- 第3回 10月20日 ◆江戸東京博物館と江戸のくらし—浮世絵と長屋文化
- 第4回 11月10日 ◆放送博物館と玉音放送—終戦秘話から世界のコミュニケーション
- 第5回 11月24日 ◆ニュージーランドの博物館とマオリ文化—海を渡る神話の世界
- 第6回 12月1日 ◆台湾の故宮博物館と中国4000年の秘宝—中国の歴史遺産の重み
- 第7回 12月8日 ◆エルサレム死海文書博物館と聖書考古学—ユダヤ教と古代文書解説
- 第8回 12月15日 ◆ギリシャ国立考古学博物館とミケーネ遺跡—ギリシャ神話と地中海文化
- 第9回 1月12日 ◆カイロ博物館とツタンカーメンの秘宝—黄金仮面が語るもの
- 第10回 1月26日 ◆大英博物館と世界史への扉—ミイラと日本の古墳文化研究

講師プロフィール

東京教育大学卒業後、NHK 教育局学校放送部に入局。教育番組等を手掛け、東南アジア及び中南米諸国での番組制作演出指導等の経験を経た後、平成元年に江戸川大学教授となる。マス・コミュニケーション学科長、社会学部長を務め、現在江戸川大学名誉教授として、東西文化交流などをテーマにマルチメディアを活用した講座を各地で実施している。

お申込み・お問い合わせ

江戸川大学駒木学習センター

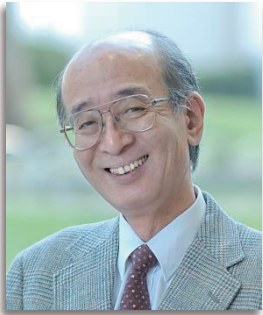
TEL 04-7156-7715

E-mail stcenter@edogawa-u.ac.jp

URL <http://www1.edogawa-u.ac.jp/stcenter/>

102 講座 神社信仰からみた日本人の感性

開催日 木曜日 13:30～15:00 回数 全8回 受講料 12,000円 定員 20名 お申込み締切日 10/12(木)



宇野 正人

江戸川大学名誉教授

他国の文化や事情を学ぶとき、まずは自国をしっかりと意識し、その違いと多様性を認識することが大切です。我々日本人は、地域によって多種多様な風習や価値観を持ちながら、一方で「日本人」ならおおよそ共通する感覚も持ち合わせています。こうした日本人の「感性」はどのようにして形成されたのでしょうか。

この講座では、多様な日本文化の中でも、全国に存在する神社とその信仰のあり方をキーとして、我々日本人の現在地を明確にし、世界各地で起こる問題や風習などをより理解する一助とすることを目指します。

- 第1回 10月 19日 ◆ はじめに ～神社、美意識、感性、倫理観
- 第2回 10月 26日 ◆ 神々と自然 ～祭神
- 第3回 11月 9日 ◆ 神社と自然 ～鎮座地と境内
- 第4回 11月 16日 ◆ 感謝する行為 ～畏怖と敬意
- 第5回 11月 30日 ◆ 浄める行為 ～祓いと禊
- 第6回 12月 7日 ◆ 祭儀 ～素朴と静謐
- 第7回 12月 14日 ◆ 祝祭 ～華美と喧騒
- 第8回 12月 21日 ◆ まとめ ～生活での美意識と倫理観

103 講座 わが国での電力の安定供給に不安はないのか？

～電力自由化の下での電源構成の今後を考える～

開催日 火曜日 14:00～15:30 回数 全4回 受講料 6,000円 定員 20名 お申込み締切日 10/31(火)



帆足 興次

江戸川大学名誉教授

NPO 法人社会システム
研究フォーラム理事

福島原発事故から早くも6年以上が経過。その間、太陽光発電の急速な導入や原発の一部再稼働開始などで、電源構成が事故以前とは異なり始めたことに加え、発電や小売りで競争を刺激する電力市場の自由化が行われました。再エネ賦課金の家庭や企業での負担額が年々増大したり、天然ガスの輸入増による貿易収支の変化、さらには原発立地地域での景況の変化など、経済社会への影響が少しずつ顕著になり始めました。こうした環境変化の中で、今後の電力の安定供給はどうすれば確保されるのでしょうか。国内外での状況変化や政策動向を踏まえ、多々の視点から考えます。

- 第1回 11月 7日 ◆ 電力供給を巡る国内外での変化とは？
- 第2回 11月 21日 ◆ 再生エネルギーの導入拡大は可能なのか？
- 第3回 12月 5日 ◆ 原子力発電と核燃料サイクルに、どう対応するのか？
- 第4回 12月 19日 ◆ わが国では、今後どのような施策が望ましいのか？

104 講座 世界が変わる 科学で変わる

開催日 月曜日 14:00~15:30 回数 全6回 受講料 9,000円 定員 30名 お申込み締切日 10/30(月)



餌取 章男

江戸川大学元教授
大阪大学・東京工業
大学非常勤講師
日経サイエンス初代
編集長
科学ジャーナリスト

今日の科学や技術の進歩は加速度的で、私たちの生活や国家、企業などのあり方を劇的に変えていきます。

人工知能が人間の脳を超える日もそう遠い未来ではないといわれ、ナノテクの進歩はエネルギー問題や食糧問題を根本的に解決する可能性を秘めています。重力波をはじめとする宇宙の謎にも次々とメスが入り、生命の起源などもやがて明らかになるでしょう。一方地球温暖化のような人類全体の課題についても、その克服をめざして科学や技術がチャレンジしています。

この講座では、そうした最新の課題をとりあげ、わかりやすく解説しながら私たちのくらしが今後どのように変わっていくかを考えてみたいと思います。

- 第 1回 11月 6日 ◆ 人工知能（AI）は脳を超えるか
- 第 2回 11月13日 ◆ ナノテクノロジー3つの夢
～室温超伝導・人工光合成・脳型コンピュータ～
- 第 3回 11月20日 ◆ 宇宙に生命は存在するか
- 第 4回 11月27日 ◆ 地球温暖化をどう克服する
- 第 5回 12月 4日 ◆ エネルギー・フリーの時代がくる
- 第 6回 12月11日 ◆ ノーベル賞と日本人 ～科学や技術を通じて世界に貢献する道

105 講座 音楽の旅路 ジャズ～エラ・フィッツジェラルドの100年～

開催日 金曜日 11:00~12:30 回数 全6回 受講料 9,000円 定員 20名 お申込み締切日 9/29(金)



荒木 健

江戸川大学非常勤講師
作曲家、ベース奏者

20世紀のアメリカ合衆国で誕生し、やがて世界で親しまれるエンターテインメントとなったジャズ。その歴史の中で燦然と輝く名演奏家と数々の名曲たちの魅力を探ります。今回は「ジャズ・ボーカルの母」エラ・フィッツジェラルドの生誕100周年に際し、その音楽人生をたどります。エラ自身の作品と共に、彼女の歌声を支えた「時代の共演者達」に焦点を当て、ジャズの歴史に残したものを掘り下げていきます。素晴らしいメロディに耳を傾けながら、お気に入りの音楽との新しい過ごし方を見つけましょう。

- 第 1回 10月 6日 ◆ ハーレムの歌姫。
共演：チック・ウェブ、ベニー・グッドマン他。
- 第 2回 10月20日 ◆ ビッグバンドの花形。
共演：デューク・エリントン、カウント・ベイシー他。
- 第 3回 11月24日 ◆ ジャズの巨人達を魅了するスキヤット。
共演：ルイ・アームストロング他。
- 第 4回 12月 8日 ◆ ジャズ・デュエットの深み。
共演：オスカー・ピーターソン、ジョー・パス他。
- 第 5回 12月22日 ◆ エラが愛したリズム。
共演：レイ・ブラウン他。
- 第 6回 1月19日 ◆ ジャズの歌心を引き継いで。
共演：スティービー・ワンダー他。

106 講座 島崎藤村の文学とその風土 ～藤村文学の源泉～

開催日 木曜日 10:30～12:00 回数 全3回 受講料 4,500円 定員 25名 お申込み締切日 1/25(木)



新井 正彦

江戸川大学教授

わが国の自然主義文学を確立した島崎藤村。藤村は山深い木曾谷・馬籠に生まれ、9歳で上京後、木曾谷に帰郷することはあっても二度と住むことはありませんでした。しかしながら、故郷・木曾谷は藤村作品に繰り返し描かれています。晩年、馬籠に帰郷した藤村は馬籠小学校での講演で、「血につながるふるさと 心につながるふるさと 言葉につながるふるさと」と述べた後、しばし絶句したといわれます。この講座では、この「血につながるふるさと……」の言葉をモチーフにして、藤村文学の源泉を考察していきます。

- 第1回 2月 1日 ◆藤村作品と島崎家の人々 ～血につながるふるさと～
- 第2回 2月 8日 ◆藤村文学とふるさと ～父、姉への思い～
- 第3回 2月 15日 ◆藤村文学の源泉 ～水につながるふるさと～

107 講座 人間・正岡子規 ～ある明治人の人格形成物語～

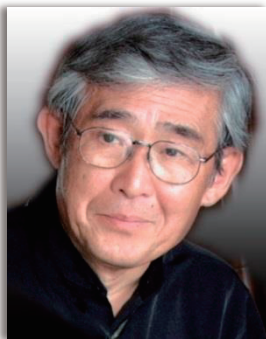
迫りくる死を睨みすえ生ききった力

開催日 木曜日 13:00～15:00 回数 全4回 受講料 8,000円 定員 50名 お申込み締切日 2/15(木)

35年に充たない短い生涯でありながら、晩年7年余りの仕事で、俳句・短歌の革新と日本近代散文の基礎づくりという大業をなし遂げた正岡子規。

その病床の業苦を乗り越えて生きぬく姿を「強健無比。大剛の者」(中野重治)とまで評されましたが、幼年期にあっては「よっぽどへぼでへぼで弱味憎でございました」と母(八重)が回想するような男の子でした。そのひ弱な幼な子は、早くから「書く」ことに親しみ、生涯に亘ってそれを生きてゆく核心のワザとしました。

本講座では、各回子規の原文を精選朗読、周囲の証言と子規を愛する人々の評言も交えて紹介します。その一生の人格形成ストーリーと、苦しみを乗り越えて到達した健康で強靱な精神像を明らかにしていきます。



栗田 博行

元NHK 京都放送局
放送部長

- 第1回 2月 22日 ◆弱味憎クンに元気が宿るとき
- 第2回 3月 1日 ◆明治の青春・試行錯誤と試練、そして自己決定
- 第3回 3月 8日 ◆日本新聞社員タリ「月給四十円の自負自足」
- 第4回 3月 22日 ◆病床からの大業、「あきらめる以上のことをやる」

講師プロフィール

早稲田大学文学部卒。昭和38年NHK松山局入局後、教育・教養番組を中心に番組制作現場を歩み、司馬遼太郎出演「人間・正岡子規」などを手がける。

108 講座 新・国立公園シリーズ 「紅葉景観 —その楽しみ方」

～紅葉を多面的に見る～

開催日 月曜日 10:30～12:00 回数 全2回 受講料 3,000円 定員 20名 お申込み締切日 10/16(月)



宮地 信良

江戸川大学国立公園
研究所研究員
ネイチャーガイド

国立公園の秋の景観を代表する紅葉。その色づきのメカニズムや種類、美しい紅葉を見るための歩き方、紅葉と文学など、紅葉のすべてを多面的に学びます。きっと紅葉についての新しい発見があることでしょう。現地ツアーでは、日本を代表する日光の紅葉のほか、なかなか見に行くことのできない貴重な紅葉も見に行く予定です。

第1回 10月23日【講義】◆紅葉を多面的に見る

紅葉する理由、いろいろな紅葉、これもカエデ？ 紅葉の美しい見方、紅葉と文学等、紅葉を多面的に学びます。

第2回 10月30日【現地ツアー】◆日光の紅葉を訪ねる

日光国立公園の日光に出かけ、日本有数の紅葉の美しさを味わってみましょう。また、絶滅危惧種Ⅱ類の珍しいカエデ「クロビイタヤ」が栗山の土呂部で最近見つかりました。今回はこの紅葉も見に行く予定です。
※行き先は変更する場合があります。

受講条件

- ※現地ツアーを含む内容となっておりますので、軽いハイキングの出来る健康な方が対象です。
- ※現地ツアーは雨天でも行います。ただし、荒天の場合は、中止いたしますのでご了承ください。
- ※講義だけのご受講も可能です。(現地ツアーのみの受講はできません)お申し込み時にお知らせください。
- ※現地ツアーは受講料の他に各回5,000円～6,000円程度の経費(バス代、昼食代、保険料等)と現地までの往復交通費が必要です。

109 講座 初級者向け野鳥の楽しみ方

～冬はバードウォッチングに最適な季節 あなたも楽しんでみませんか～

開催日 土曜日 回数 全2回 受講料 3,000円 定員 20名 お申込み締切日 12/1(金)



中島 慶二

江戸川大学教授
江戸川大学国立公園
研究所所長
バードウォッチャー

身近な野生動物として親しまれている野鳥。美しい姿や声、かわいらしいしぐさなど、野鳥の観察は楽しくて飽きることがありません。また、野鳥観察は野鳥を含む生態系を学ぶことにもつながります。野鳥の見つけ方や識別にはある程度の慣れや知識が必要です。講義とフィールドの2部構成で、初級者向けに楽しく観察するコツを伝授します。

講義では、野鳥観察のために必要な基礎知識や、野鳥を例に生物と環境の関係について学びます。

フィールド回は運河駅に集合し、運河沿いの歩道などを巡りながら、シベリアから日本にわたってきた冬鳥を実際に観察し、見つけるコツを実地に伝授します。

第1回 12月9日 14:00～15:30【講義】◆野鳥観察・発見と識別のコツ

野鳥という生きものの生活や特徴を学び、双眼鏡の扱い方、環境の中でいかに早く見つけるか、そのコツについて伝授します。

第2回 12月16日 9:00～12:00【フィールド回】◆野鳥観察・発見と識別のコツ

利根運河周辺で冬鳥を中心に野鳥を実際に観察します。観察しやすいカモ類から始め、セキレイ類、ホオジロ類、ツグミ類、キジ、カワセミ、ジョウビタキなども見られるかもしれません。天気が良ければ猛禽類も期待できます。
※フィールド回は双眼鏡をご持参ください。

110 講座 日常に生かすかな書道 (継続)

開催日 火曜日 18:30~20:00 回数 全18回 受講料 30,000円 定員 15名



村竹 恵子
書家

仮名と漢字で書の基本を学び、日常の生活にも生かせるようにしていきます。作品作りにも挑戦して、書の楽しみを広げましょう。書の鑑賞や歴史にも触れていきます。

期間 10月10日(火)~3月20日(火)

※本講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため募集は行いません。ご了承ください。

111 講座 日常に生かす美しい書道 (継続)

開催日 火曜日 10:30~12:00 回数 全18回 受講料 30,000円 定員 15名

村竹 恵子
書家

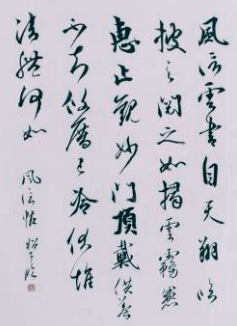
小筆を中心に仮名と漢字の書の基本を学び、日常の生活にも生かせるようにしていきます。作品作りにも挑戦して、書の楽しみを広げましょう。書の鑑賞や歴史にも触れていきます。

期間 10月10日(火)~3月20日(火)

※本講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため募集は行いません。ご了承ください。

112 講座 古典に学ぶ美しい書道 (継続)

開催日 水曜日 10:30~12:00 回数 全18回 受講料 30,000円 定員 15名



村竹 恵子
書家

平安時代の仮名や中国の書の習得により、自分の書を作り上げていきます。古典の鑑賞や書の歴史にも触れていきます。半紙や四分の一半切などの作品も仕上げます。

期間 10月11日(水)~3月28日(水)

※本講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため募集は行いません。ご了承ください。

113 講座 基本の基本から学ぶ書道 (継続)

開催日 金曜日 10:30~12:00 回数 全12回 受講料 21,600円 定員 15名

村竹 恵子
書家

ひらがなの基礎と漢字の基礎を学びます。自分で書けるようになるために、字の構造をしっかりと理解しながら練習していきます。また展覧会で平安の書などが鑑賞できるように、書の古典も学んでいきます。

期間 10月13日(金)~3月16日(金)

※本講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため募集は行いません。ご了承ください。

114 講座 水彩スケッチを楽しむ (午前の部) < 継続 >

開催日 土曜日 10:30~12:00 回数 全12回 受講料 18,000円 定員 15名



村竹 清
アーティスト

すでにこの講座を受講された方から初歩の方まで、水彩スケッチを楽しみながら練習していくクラスです。毎回テーマごとにスケッチの練習と色のつけ方を学びます。簡単な美術史も取り入れ、その時々々の展覧会の案内もします。

開催期間

10月14日(土)~3月24日(土)

※本講座は開講予定ですが、継続の受講生が対象のため、今期の募集は行いません。ご了承ください。

115 講座 水彩スケッチを楽しむ (午後の部) < 継続 >

開催日 土曜日 13:30~15:00 回数 全12回 受講料 18,000円 定員 15名

水彩スケッチを楽しみながら練習をしていくクラスです。毎回テーマごとにスケッチの練習と水彩のつけ方を学びます。簡単な美術史も取り入れ、その時々々の展覧会の案内もします。

※午後の部につき、先着順にて若干名の募集を行います。お申込み方法は他講座と同様です。

「水彩スケッチを楽しむ」受講生作品



開催期間

10月14日(土)~3月24日(土)

開催予定日

第1回: 10月14日	第7回: 1月6日
第2回: 10月28日	第8回: 1月27日
第3回: 11月18日	第9回: 2月10日
第4回: 11月25日	第10回: 2月24日
第5回: 12月2日	第11回: 3月10日
第6回: 12月9日	第12回: 3月24日

201 講座 心理学概論 (後期) ～こころは実在しない～

開催日 水曜日 9:00～10:40 回数 全 14 回 受講料 20,000 円 定員 10 名 お申込み締切日 9/20(水)



福田 一彦
江戸川大学教授
医学博士
睡眠研究所所長
日本睡眠学会理事
日本睡眠改善協議会理事
日本生理心理学会理事

心理学は「こころ」を扱う学問であると言われてますが、「こころ」とは我々の中枢神経系を中心とした「からだ」で起こっているあるプロセスの言い換えに他なりません。この授業では、我々の心理的体験、行動がどのような生物学的・生理学的基礎を背景としているのかを学んでいきます。

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 第1回 9月27日◆前期の復習 | 第8回 11月29日◆精神分析学2(フロイトの夢分析ってどこまでホント?) |
| 第2回 10月4日◆攻撃性1(模擬拘置所、模倣学習) | 第9回 12月6日◆人格検査法(投影法、HTP、解説及び施行) |
| 第3回 10月11日◆攻撃性2(マスメディアと犯罪) | 第10回 12月13日◆人格検査法(投影法、HTP、結果の解釈など) |
| 第4回 10月18日◆攻撃性3(脳と情動) | 第11回 12月20日◆人格検査法(質問紙法、MMPI、解説及び施行) |
| 第5回 10月25日◆セクシュアリティ、性同一性について | 第12回 1月10日◆人格検査法(質問紙法、MMPI、結果の解釈など) |
| 第6回 11月8日◆まとめ(小テスト3) | 第13回 1月17日◆心の病(精神障害について) |
| 第7回 11月15日◆精神分析学1(フロイトって心理学者でしょ?) | 第14回 1月24日◆まとめ(復習) |

202 講座 哲学概論

開催日 木曜日 13:10～14:50 回数 全 14 回 受講料 20,000 円 定員 10 名 お申込み締切日 9/21(木)



荒谷 大輔
江戸川大学教授

お金はなぜ商品と交換できるのか?
なぜ、基本的人権は守らなければならないのか?
なぜ、人を殺してはいけないのか?
あまりにも「当たり前」で、問い直す必要も感じないようなことがらを改めて考えることで、今生きている社会の構造を意識化していきます。

※ これまで、前期に「哲学概論」後期に「哲学」を開講しておりますが、今年度より時間割編成が変わり、後期に「哲学概論」を開講いたします。受講をご検討の際はご注意ください。

- | | |
|---|--|
| 第1回 9月28日◆哲学とは何か(あらためて考える) | 第8回 11月30日◆教科書的な理解を超えて、現実作用している哲学の内実を知る(ロックとルソーの対立と現代人の思考) |
| 第2回 10月5日◆現代社会の構造: ロックにおける人間の「自然」 | 第9回 12月7日◆社会構造の形成と倫理(「倫理」の相対性と絶対性) |
| 第3回 10月12日◆現代社会の構造: ロックの社会契約論 | 第10回 12月14日◆社会構造の形成と倫理(「倫理」の形成過程) |
| 第4回 10月19日◆現代社会の構造: ルソーにおける人間の「自然」 | 第11回 12月21日◆人間関係と社会(近代思想における対立の現代的な影響) |
| 第5回 10月26日◆現代社会の構造: ルソーの社会契約論 | 第12回 1月11日◆人間関係と社会(社会制度についての考え方の差異) |
| 第6回 11月9日◆教科書的な理解を超えて、現実作用している哲学の内実を知る(ロックの思想による現代人の思考の規定) | 第13回 1月18日◆人間関係と社会(「経済」についての考え方の差異) |
| 第7回 11月16日◆教科書的な理解を超えて、現実作用している哲学の内実を知る(ルソーの思想による現代人の思考の規定) | 第14回 1月25日◆まとめ |

※お申込みに際してのご注意 201・202 講座ともに「一般公開授業」です。大学で実施している授業を学生と一緒に受講します。その性格上、授業の運営が最優先となりますので、ご理解の上でお申込みください。また、授業内で小テスト等が実施されることがありますが、受ける必要はありません。学期末の定期試験は、受講生は受けることはできません。成績・単位等も付与されません。

301 講座 競争なくして成長なし ～競争政策の意義と実際～

開催日 10/30(月) 14:00～15:30 回数 全1回 受講料 無料 定員 20名 お申込み締切日 10/23(月)



小田切 宏之

公正取引委員会顧問
一橋大学名誉教授

競争がなければ、消費者が損失を被るだけでなく、新製品開発のためのイノベーションも起きません。まさに「競争なくして成長なし」です。このために必要となるのが、競争政策であり独占禁止法を中心とした法律です。

本講義では、具体的事例を紹介しつつ、競争政策とは何か、公正取引委員会が果たしている役割は何かを説明します。また、経済のグローバル化がもたらす課題などについても考えます。

※この講座は「公正取引委員会」による無料の講座となります。
(ただし、事前のお申し込みが必要となります)

302 講座 60歳から知っておきたい老後のお金のこといろいろ

～豊かなシニア生活を送っていただくための経済・金融の基本から応用までを学びます～

開催日 木曜日 10:30～12:00 回数 全3回 受講料 無料 定員 50名 お申込み締切日 10/19(木)

田中 政広

野村証券株式会社
投資情報部
証券学習開発課 課長

日本が高齢化社会を迎える中、ご家族との心豊かなシニアライフを送ろうとした時に、「お金」の問題はどうしても考えなければならない大切なことの一つです。これまで「稼ぎに追いつく貧乏なし」としてあまり資産運用を考えてこなかった方にとっても、リタイア後にはじまる第二の人生を素晴らしく充実したものとするためには、賢いお金の使い方を知っておく必要があります。

今、日本経済は緩やかな景気拡大が続いていると報道されていますが、皆様の実感はどうでしょうか？この講座では、これからのシニアライフをおびやかす諸問題について考え、今知っておきたい経済、「お金」の最新情報をやさしくお話しします。(※この講座は主にシニア世代の方を対象としております)

第1回 10月26日 ◆国の財政や景気が私たちの身近な生活にどのような影響を及ぼしているのか考えてみましょう。

第2回 11月9日 ◆金融商品の基本知識を学び、ライフプランと資産運用について考えてみましょう。

第3回 11月16日 ◆「終活」の一つ、相続や贈与などを含めて資産をめぐる知識を学びましょう。

※この講座は「野村証券株式会社」による無料の講座となります。
(ただし、事前のお申し込みが必要となります)